

2017年度 第1回

中京大学所蔵国書善本展示会

中京大学名古屋図書館は、2017年度の第1回国書善本展示会を下記の日程で開催します。

普段は貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な国書です。ぜひご高覧ください。

展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 4月10日(月)～5月31日(水)

展示作品

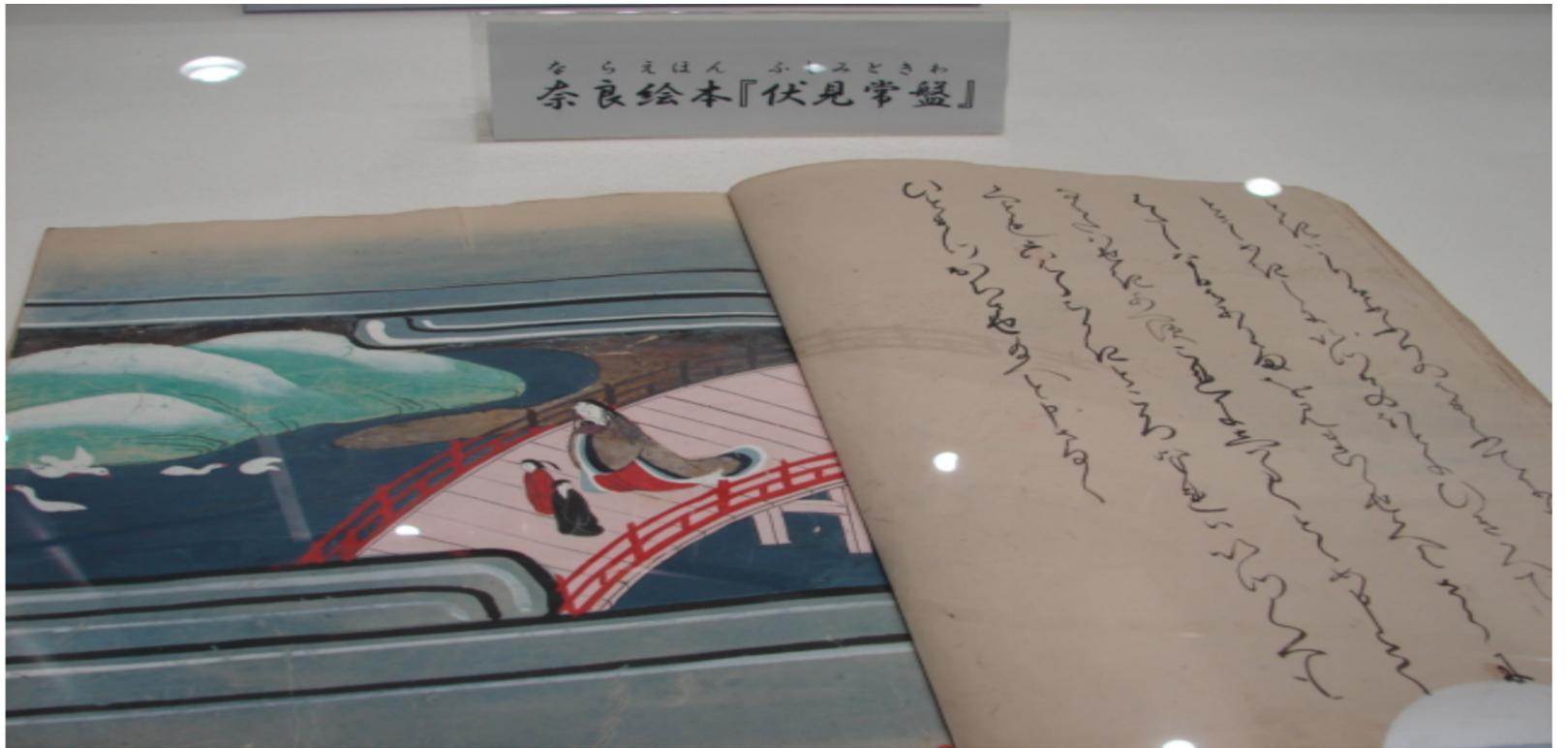
1、清少納言枕草子抄……………延宝2年 15巻15冊

江戸時代に書かれた枕草子の注釈書。和学者で俳諧師の加藤盤齋ばんさいが著したと目される。中京大本は倭飽箱けんどんに収まる原装の極美本。「六条家」という蔵書印が押されており、六条家の旧蔵書であったことがわかる。



ふしむときわ
2. 奈良絵本『伏見常盤』……………江戸前期頃 1冊

中世後半に流行した芸能・幸若舞曲の「伏見常盤」の詞章を奈良絵本に仕立てたもの。平治の乱で敗死した源義朝の側室常盤が、平清盛の追及を逃れるため、牛若(後の源義経)等子ども三人を連れて逃避行をする物語。



3. 奈良絵本『ひめゆり』下……………江戸前期 1冊

中世末期成立のお伽草子『ひめゆり』を横型の小振りな奈良絵本に仕立てたもの。主人公の姫百合と黄菊少将とが、大王との横恋慕にも負けずに恋を成就するという内容。登場する者が全て植物の名前になっている“異類擬人物”の作品である。

